

学童保育改善・学校エアコン・通学路の安全

2015年6月議会での一般質問

入間市の学童保育室は、27年度から6年生までの年齢拡大が行われました。このことは、これまで議会で求めてきたことです。しかし、年齢拡大への対応が行われなかったため6月に待機児童が34人に上りました。

速やかな待機児童解消を

私は、施設の拡充と労働条件の改善での指導員の確保を市長に求めました。市長は「施設や指導員の不足については責任を感じている。待機児童のいる学童保育は、30%が欠席している。その部分に受け入れたい」と答弁。私は、「30%も欠席することが問題で、その部分にさらに受け入れるなどまさに詰め込みだ。施設の拡充が不可欠だ」と質すと「空き教室の利用について教育委員会に引き続き相談したい」と答弁しました。

トイレ男女共用は人権問題

「トイレが男女別になっている学童保育室は4つしかない。学校と同じように男女別にすべきでは」と質すと「男女別が望ましいと考えるが大規模改修時に実施したい」と述べるに留まりました。

エアコン設置30年度実施へ

「学校の教室の最高温度が39度にもなる学校があり、生徒の学習環境、

健康を守るために教室へのエアコン設置は待ったなし。いつ設置するのか」と質すと「28年度実施計画、29年度設計・工事する」と答弁。「30年度稼働とすることか」と聞くと「そういうことになる」と答弁。県内自治体では27年度で6割の自治体が設置しています。補正予算を組んででも一日も早く設置すべきと求めました。

仏子の危険な通学路

仏子団地南側の通学路になっている市道の照明の改善、2.5メートルと狭い橋の改善を求めると「照明は自治会働きかけたい。橋は、架け替えの時に実施」金子坂の危険な通学路については、「歩道幅は難しいので、看板の設置で安全を確保したい」との答弁に留まりました。



仏子団地南側通学路の狭い橋

小出わたるの連絡先

どんなことでもお気軽にどうぞ

住所 〒358-0053 入間市仏子1170-4
電話 04 (2932) 7884
携帯 090 (6542) 3883

日本共産党小出わたる

市議会つうしん

●近況・活動・第2回定例議会の報告

- ◇安倍政権退場を
- ◇学童保育改善・小中学校エアコン
- ◇通学路の安全確保

No 24

2015年7月



戦争法案ストップの一点共闘を

夏の知事選挙で安倍政権退場の審判を

みなさんお元気でしょうか。私は、夏に向けてのダイエットで相変わらず苦戦しています。課題は一つ。「ビールの誘惑に打ち勝つ!!」先日は、震災復興チャリティーコンサートにテノール歌手(?)として出演しました。被災地の復興、特に福島は、原発事故で故郷に帰れない人が17万人と言われていきます。それでも安倍政権は川内原発を始め原発再稼働を進めようとしています。「福島を踏みにじる政権退場。即時原発ゼロ」共に声を上げましょう。

政治的激動が始まった

安倍政権の支持率が急速に落ちて来ています。新聞によっては、

不支持率が支持率を上回る状況も。

この間の国会論戦で戦争法案を無理矢理強行しようとする姿勢が、安倍政権の本質を暴露しつつあります。国会の外では、連日若い人たちが「戦争法案ノー」の声を上げています。今までにない動きが始まっています。

「戦争法案ノー」の知事を

8月の埼玉県知事選挙で安倍政権を追い詰めようではありませんか。

日本共産党は、「憲法生かす県政へ、とめよう戦争への道、守ろういのちとくらし」掲げる民主県政の会の予定候補者を推薦して革新県政実現に全力を挙げます。

東町留保地は緩衝緑地と公園に 第2回定例議会

「戦争法案」先取りの「基地拡大」は許さない

防衛省は、中期防衛力整備計画に基づき東町側留保地(28ha)に「災害対処拠点施設と自衛隊病院」の整備を入間市に打診。

留保地利用の優先権を持つ入間市は、「緩衝緑地保全と憩いの公園」整備の計画を平成20年、財務省に提示しています。

説明不足・十分議論尽くすべき

5月29・30日の市民説明会では、「市民への説明不足。防衛省の利用計画と入間市の利用計画は合致しない。貴重な緑地は保全を。災害の名による基地の拡大・強化だ」など、反対の声が大多数でした。

災害拠点に名を借りた基地拡大

防衛省の要請を受け入れると、市街地に残る貴重な緑地帯は伐採され訓練場に。「災害拠点施設」は入間基地の管理下に移され、日常的な訓練場になります。利用内容には「各種事態・防衛力の役割に継ぎ目なく対応するための防衛力強化の訓練施設」と示されています。「災害拠点」に名を借りた基地の拡大・強化そのものです。

「災害」となれば今後「オスプレイ」の飛来も想定され、東町小・中学校や公共施設が並ぶこの地域への影響は大きく、東町

や周辺地域住民が、更なる環境悪化や騒音被害の拡大に苦しむことは明らかです。

市の計画は「市負担ゼロ」で実現

入間市は、平成20年の計画通り「緩衝緑地保全とスポーツ公園等」の整備に取り組むべきです。昭島市は市負担ゼロで整備しており参考になります。安倍内閣がす

すめる「戦争法案」先取りの「基地の拡大強化」に共産党は反対です。



「戦争する国づくり」と一体の「自衛隊病院」

「自衛隊病院」は、第一線で負傷した隊員を治療後現地に戻し、重症隊員を最終後送病院(自衛隊中央病院)へと送る「後送態勢」の一環となる「後送病院」です。

自衛隊衛生の本質は、有事に備えた「人的戦闘力の保持・増進」であり、戦時医療を担うのが自衛隊病院の役割です。

田中市長は、「自衛隊病院には、二次救急の受け入れを要請し、地域医療に貢献してもらおう」と説明しますが、配属の小児科医師は1人のみ。周産期医療を担う医師はゼロ。小児二次救急や周産期医

療の受け入れはできません。二次救急の受け入れも「自衛隊病院の支障をきたさない範囲」の制限つきです。自衛隊病院は、地域医療を担う病院ではありません。

入間市の判断前に「災害拠点施設と自衛隊病院」の国庫予算が27年度計上です。

安倍内閣がすすめる「戦争する国づくり」のための自衛隊病院は平和を願う市民が認めません。



防衛省H・Pより

市民から批判が相次ぐ

市民から市に寄せられた意見を紹介します。○市民の意見を聞く前に「市の考え」で市が防衛省からの申し入れを受け入れる考えを示すのはおかしい○防衛省の計画は市の計画とは合致していない○戦争法との関係を見ると自衛隊が海外へ出ていくための病院ではないか○住民投票に値する大きな問題○災害対処に名を借りた基地拡張は戦争に直結する○環境アセスを行うべき。

市は市民の声を受け止め、防衛省からの申し入れを拒否すべきです。

核兵器廃絶とオスプレイの決議

入間市議会は、終戦・被爆70周年にあたり戦没者・原爆死没者を含むすべての戦争被害者に哀悼の意を表するとともに、「ヒロシマ・ナガサキ」の願いである核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けて、全力を尽くす決意を表明する決議を行いました。

オスプレイ横田基地配備の発表と飛行を受け、市民の不安が増大しています。情報提供並びに説明が国の責任において適切になされるまでの間、配備及び飛行を見合わせるよう強く求める等のCV-22オスプレイの米軍横田基地への配備に対する決議も行いました。

危険なマイナンバー推進に反対

全ての国民に12桁の番号をつけ、国が、所得・資産の掌握、徴税強化、社会保障費の過度の抑制を可能にするマイナンバー制度。10月通知、1月実施をふくむ補正予算に共産党は反対しました。年金機構から個人情報が出たのと同様に、情報保護は、不可能な状態です。導入している諸外国では、この制度の廃止を決めた国もあります。

日本共産党市議会報告

2015年7月 発行/日本共産党入間市議会
連絡先/電話・Fax2932-2840

石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883